

令和4年度第1回岡崎市放課後児童クラブ支援員研修会レポート

【日時】 2022年(6)月(8)日(水)10時~11時45分

【会場】 岡崎市役所福祉会館6階大ホール

【内容】 放課後児童クラブにおけるアレルギー対策のポイントとエピペン実習

【講師】 中西里映子さん(NPO法人アレルギー支援ネットワーク)

【クラブ】(あそびばクラブ)

【名前】(島田歩実)

本日の研修で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください(自由記述)。

今回アレルギーに関する研修を受講させて頂き、新たに得ることができた知識がたくさんありました。とてもありがたい時間でした。

まず、アレルギーと聞くと“食物アレルギー”をすぐに頭に思い浮かべてしまいましたが、「アレルギーにも、食物だけではなく、ダニ・動物・カビ・ゴム・ハチ等いろいろな種類がある」ということを学ぶことができました。世の中にはいろいろなアレルギーが存在しているのだと驚きました。その中でも、主なアレルギー疾患も知ることができました。アトピー性皮膚炎では「汗を洗い流したり拭き取ったりすることが大切である」ということを学びました。あそびばクラブにも、アトピー性皮膚炎の子がいます。今の時期ちょうど暑くなってきて、腕や足が赤く、かゆいかゆいと言っています。今までは、保冷剤や氷をあてて冷やすということをしていましたが、冷やす前にきちんと汗を洗い流し、拭き取ってあげられるようにしていきたいなと思います。気管支喘息では、「ふとんやぬいぐるみをきれいにするのが大切である」ということを学びました。あそびばクラブに、気管支喘息の子もいます。ぬいぐるみを日頃から振り回しあそんでいたり、ブランケットをよくかぶってあそんでいたりするからこそ、これらの洗濯を今より多い頻度でこまめに洗ってあげたいなと思いました。

食物アレルギーでは、「少しずつ食べられるものを食べていった方が治りやすいとなってきてはいるが、あくまで集団生活の中では、危険なことをないように家と区別をすることが大切である」ということを改めて再認識することができました。しかし、できるだけアレルギーがない子と同じものを食べさせてあげたいなとも思うので、保護者の方によく相談・確認をさせて頂かなければと思います。何を食べても大丈夫なのか、何を必ず除去しなければならないのか、さらに症状が出る場合どんな症状が多いのか、どう対応したらいいのか、ということをよく確認させて頂き、指導員同士で情報を共有できるようにしていこうと思いました。また、「アレルギー症状がないからといって、絶対に大丈夫ということはないよ」というお言葉も印象的でした。子どもたちの様子に異変がないか、常に気に掛けて見ていること、保護者の方にも共有することを常に意識していこうと思います。

万が一ショック状態になってしまった時に、「絶対に体を立ててはいけぬ。血が下がっていってしまうため、必ず体を寝かせて足を高くする」という対応を学ぶことができました。実際に、ある学校で体を立たせてしまいあっという間に心肺停止になってしまったというお話をお聞きして、震えそうになってしまう思いでした。エピペン実習では、実際に打つ練習をさせて頂きました。「キャップを外す前にう

つ場所を必ず決めること(打つ場所を迷っている間に、エピペンを落として針が出てしまうともう使えないから)」や「右足でも左足でもどちらでも可能なこと」「5秒太ももに押し付けること」等、大切な知識をたくさん学ぶことができました。特に一刻を争う時に備え、体を立たせないことやエピペンの使い方を、今回学ぶことができて本当に良かったと思います。反対に、まだまだ知らない知識が自分にはたくさんあるし、訓練不足である自分に恐ろしくもなります。大事な命が目の前にあるからこそ、日頃から訓練・万が一の時のシミュレーションをして少しでも落ち着いて命を守らなければと感じました。そのためにまずひとつ、「救急の119番という番号やクラブの住所を目に見えるところに貼っておくこと」をまずやろうと思います。

あそびばクラブでは、卵のアレルギーだけではなくて、今回学んだ、増えてきている“ナッツ類”のアレルギーの子もいます。子どもたちが楽しく安全に過ごすことができるようにこれからも、子どもたちと保護者の方と一緒にアレルギーに向き合っていこうと思いました。そして、厚生労働省の“アレルギーポータルサイト”も活用し、常に的確な情報を確認し得ていくことも大切にしていこうと思います。

※提出されたレポートは、当会のホームページや広報誌に掲載する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※×切は、研修終了後、2週間以内です。常勤・専任指導員に手渡し、または、okazakigakudou@yahoo.co.jp までお送りください。